

6月 定例会

◆会期 六月十九日～七月四日(十六日間)

本定例会は、はじめに述べたように、六月二十二日に行われた本会議、(一般質問二名予定)が流会となりました。しかし、二十五日の一般質問を当初予定の二名から四名として開催、他の日程に影響のないように一般質問会期の延長なく進められました。定例会では十八の議案、各委員会に付託された案件、誓願などが審議されました。

本定例会の七月二日、予算特別委員会にて初めての質問に立つ機会を得て、七十分の質問時間をフルに活用し九つの項目について質問いたしました。質問が始まってすぐは、緊張のためか恥ずかしながら手が震えていたようです。質問終了後、同じ会派の吉村議員に「最初、手少し震えたけど。」と言われ、笑ってごまかした次第であります。次回は来年二月定例会にて一般質問を行う予定となっております。緊張しないように頑張りますので応援宜しくお願いいたします。

予算特別委員会での質問事項

①地域の安全・安心確保について

※警察官の大量退職における技能の伝承について

※地域ボランティア育成と連携について

【警察本部長】

※官民一体となった交通事故防止策の取り組みについて

【危機管理官】

団塊の世代の方々の退職期を迎え、県警の警察官も同様に本年から十年間で全体の4割を超える人が退職されます。犯罪の口が巧妙になつてきている現況下で、今後の治安と警察力を維持していく上でどの様に対応していくのか質問しました。

②指定管理者制度の効果的な運用について

【改革推進官】

サービスの質の向上などを目的に運用されている指定管理者制度。県と指定管理者との協定に盛り込まれていない項目について、利用者から要望が出された場合も臨機応変に対応できる体制を整えておくべきと考え質問しました。

③市町村合併の積極的な推進について

※市町村合併の気運について

※今後の取り組みについて

【知事】

平成一七年四月から五年間の時限立法として制定された合併新法も本年度で三年目、折り返し点を迎えています。現在、国からの地方交付税が減少している中で、各自自治体の今後の運営における厳しさが増して、不安に思っている人も少なくありません。今後の合併について、県は具体的にどのような取り組みをしていくのか質問しました。

④ドメスティック・バイオレンスの対応について

※現在の取り組みについて

※加害者のケアに対する考え方について

【健康福祉部長】

県内でも婦人相談所に寄せられるDV相談等の状況は増加傾向にあり、平成一八年度は百九十一件の相談が寄せられ、うち三十件は一時保護されている状況にあります。被害者への県の相談体制や一時保護施設の状態、昨年九月に各総合支庁に設置されたDV相談支援センターと地域の連携体制について、また、DVを受けた被害者の中には、加害者の元に戻るケースも少なくないことから再発の懸念もあります。このようなことを考えると被害者のケアも必要ですが、逆に加害者をケアすることの意義も大きいのではないのでしょうか。精神科医の協力を得て、加害者のケアに力を入れているところもあるので、加害者ケアに対する県の考え方を質問しました。

⑤県立病院における薬剤の処方について

※県立病院におけるジェネリック医薬品の活用状況について

※ジェネリック医薬品の普及について

※患者にとって院外処方へのメリットについて

【病院事業管理者】

日本は高齢化が進み国民医療費も平成十六年度で三十二兆円を上回っています。年々高騰を続ける医療費、このような現況下において医療費の抑制と患者の負担軽減という観点からジェネリック医薬品の活用、今後の導入などについて質問しました。

⑥県のホームページの充実について

【総務部長】

知事のトップセールスと同様で、もう一つの山形の顔である県庁のホームページ。観光や各自自治体の情報発信という観点では物足りないと感じます。利用者にとって検索が簡単で、山形の魅力を大きく発信できるようにと質問しました。

⑦市町村との連携による税込確保対策について

【総務部長】

今年度から、所得税が個人住民税へと税源移譲され、地方税の重要性が増し、徴収率の向上や滞納防止など納税について不公平感を払拭することがますます重要になってきました。税込確保に向けた市町村と県の連携について方針が打ち出されましたが、どの様な態勢で対応するのか質問しました。

⑧仙台空港への外国人旅行者の増加に対応した観光誘客戦略について

【商工観光部長】

仙台空港アクセス鉄道の利活用した広域観光の促進について質問しました。

⑨職員駐車場の有料化について

【総務部長】

県庁でマイカー通勤の駐車許可をしている車両台数は約二千台。現在の職員駐車スペースは約千六百三十台で民有地を借りて対応しており、その賃借料は平成一八年度で約二千万となっております。厳しい財政状況を受け改革に取り組んでいる中、各都道府県の三分の一が有料化に踏み切っています。このことについて県はどの様に考えているのか質問しました。



(予算特別委員会での質問席にて・・・)

議会の様子が見られます

各定例会の本会議の様子はインターネットでご覧頂けます。(平成十八年六月定例会より)詳しくは山形県議会ホームページのインターネット中継からご覧下さい。